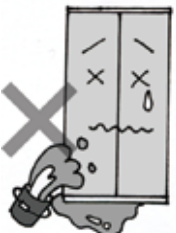
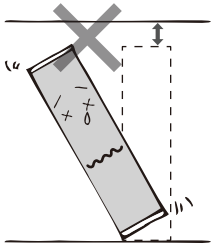
セフィット
可動間仕切収納

取扱説明書

施工完了後この取扱説明書と施工説明書を必ずお客様にお渡しください

この度は、セフィット「可動間仕切収納」をご採用いただきまして誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、みなさまに本商品を正しく、そして末永くご愛用いただくために知っておいていただきたいことを説明しています。
ご使用前に必ずお読みください。

アクシス株式会社

1．安全上のご注意　必ずお守りください

■ 本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ず知っておいていただきたい項目です。

取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

してはいけない「禁止」を示しています。

必ず実行していただく「指示」を示しています。

注意

扉や取手などにぶら下がったり収納ユニットにぶつかったりしないでください

収納物の落下や取手脱落によるケガの恐れがあります。特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

本体の中に入ったりハンガーパイプにぶら下がったりしないでください

本体の破損やハンガーパイプの変形によりパイプが落下し、ケガをする恐れがあります。特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

重量物を収納しないでください

この商品の最大収納量の目安は棚板1枚あたり20kgです。それ以上収納すると、棚板が外れたり破損したりする恐れがあります。収納物はなるべく一ヶ所にまとめず、棚板に均等になるよう収納してください。

ストーブなどの熱源を近づけないでください また、直接温風があたらないようにしてください

ストーブなどの暖房器具や高熱を発する照明器具を近付けすぎた場合、扉の変形・変色の恐れがあります。

水濡れしないようご注意ください

水に濡れると変質する恐れがあります。水がかかったりこぼれたりした場合はすみやかに拭き取ってください。

収納ユニットは天井に突っ張って固定してください

この商品は天井に突っ張って固定する商品です。天井と突っ張れない場所に設置した場合、転倒の恐れがあります。
万一、天井に突っ張らずに設置して転倒事故が発生した場合、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

注意

扉や引出しの開閉は静かにゆっくり行ってください

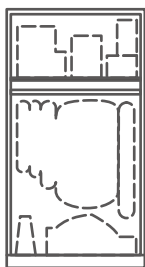
強い力をかけすぎると、扉や引出しの破損や脱落が起こり、ケガをする恐れがあります。

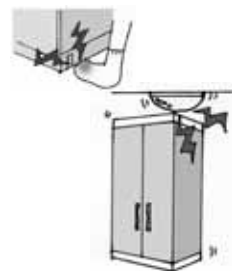
扉の開閉は取手を持って行ってください スキマなどに指や手を入れないでください

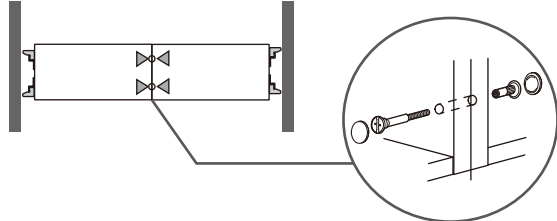
扉を持って閉めたり、扉のスキマなどに指を入れたまま扉を開けると、指をはさむなどのケガをする恐れがあります。

注意

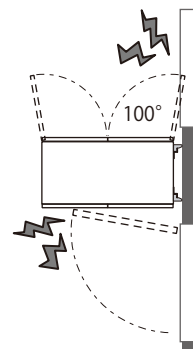
移動時は収納物をすべて取り出してください

ジャッキアップキャスターの故障、床面へのキズやへこみの原因となります。
必ず空の状態で作業を行ってください。

収納ユニットの移動は慎重に行ってください

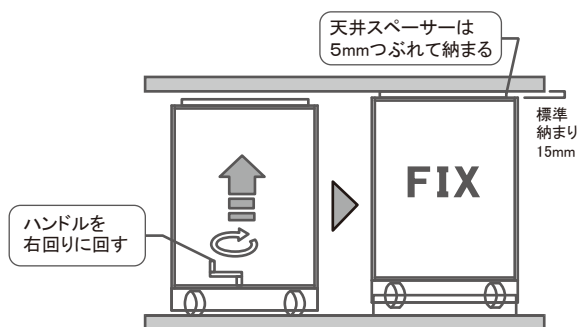
移動の際、手や足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながら移動してください。

収納ユニットの移動の際 必ず本体連結金具を外してください

連結したままジャッキアップハンドルを回してユニットを昇降させると、本体の破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。
本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。

収納本体の設置場所周辺に注意してください

収納本体設置場所を決める際は、設置・移動した場所で、建具の開閉や収納扉の開閉に支障がないかどうか周辺をよく確認してください。

※　収納扉は100°開きです。
取手や扉が壁や窓、ドア枠に当たると、キズや破損の恐れがあります。支障がある場合は戸当たりなどを取り付け、直接当たらないようにしてください。

収納ユニットの固定の際、特にご注意ください

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井の間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまで回すと正しくしっかり突っ張った固定状態となるよう設計されています。止まるところまで回してください。

※　住宅の経年変化で天井の高さにバラツキが出ることがあります。
その際、ハンドルを最後まで回すと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります。ゆっくり確認しながらハンドル操作を行い、天井を押し上げないようご注意ください。

お手入れ方法について

表面が汚れたときは、家庭用中性洗剤を薄めた水にひたした柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いて、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。
化学ぞうきんをお使いの際は、ぞうきんの注意書きに従ってください。
静電気による汚れは、耐電防止剤入りのOAクリーナー等で拭き取ると、キレイな状態が長持ちします。
シンナー・ベンジン等を使用した場合、変色やクラックの原因となります。決して使用しないでください。

不具合箇所は無理に直さずご相談ください

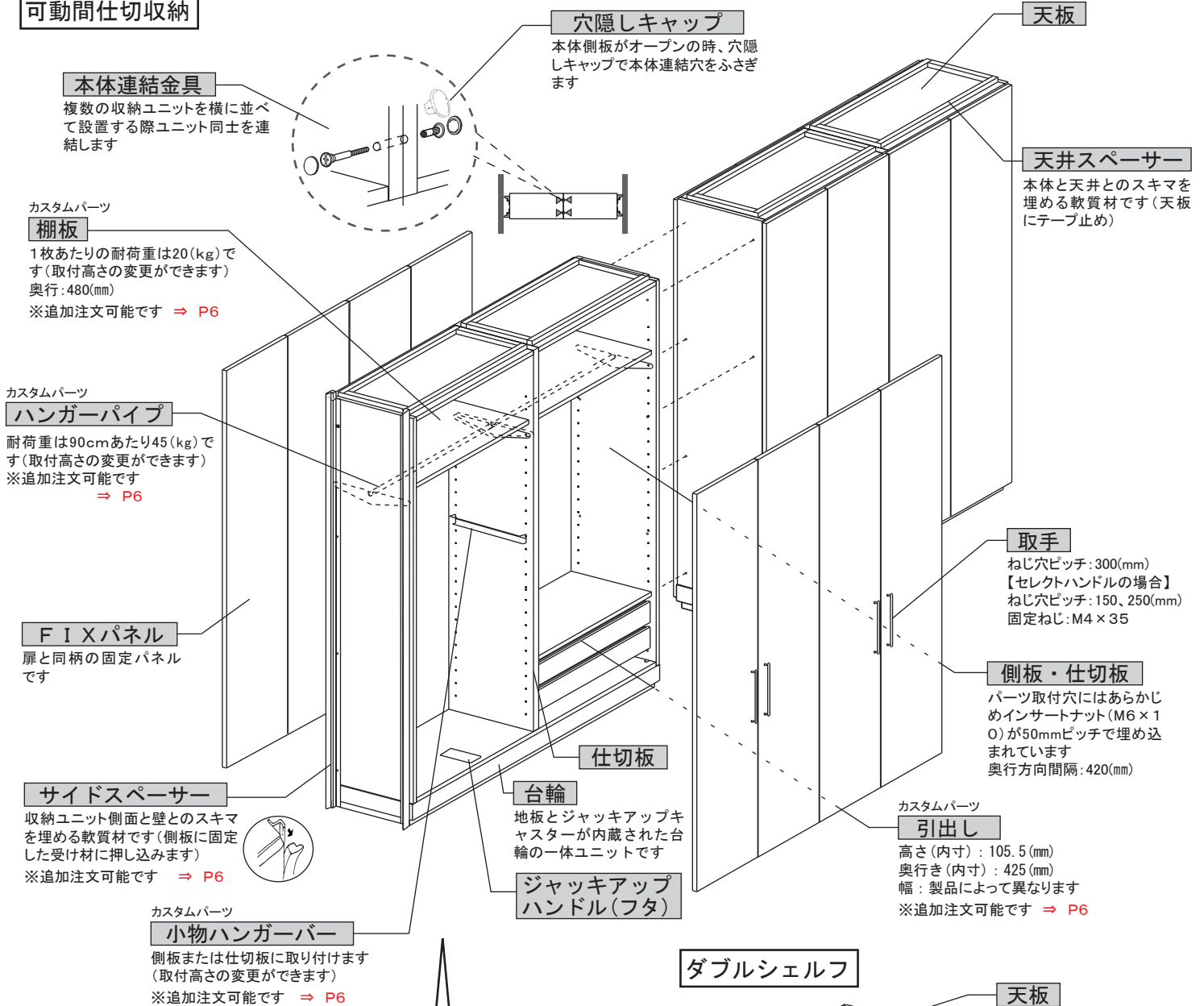
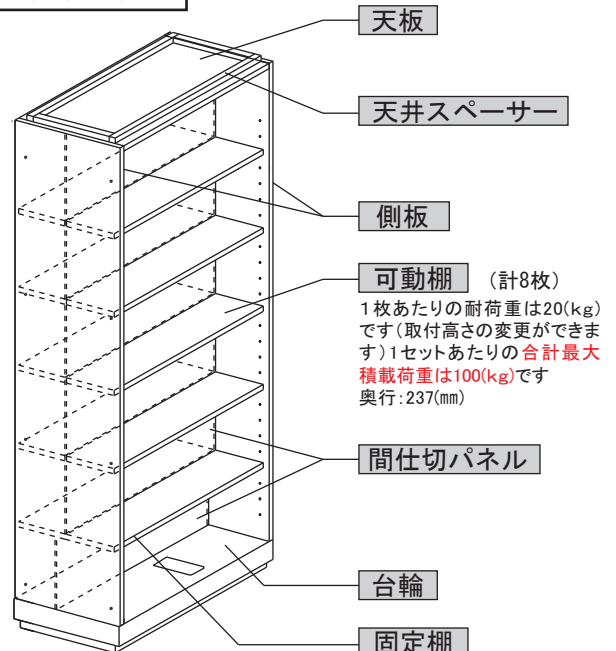
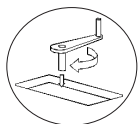
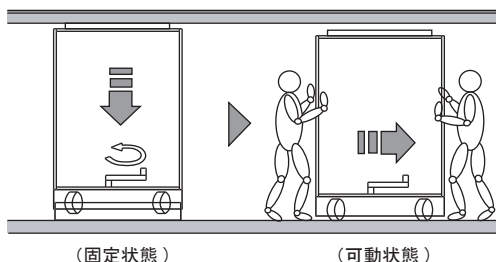
可動部のガタツキ、異音がする等不具合箇所がある場合は、弊社までご相談ください。無理に直そうとした場合、落下や破損によりケガをする恐れがあります。

ご相談はこちらまで

アクシス株式会社 セフィットお問合せ窓口
0120－348－225

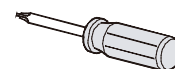
3．商品について

各部のなまえ

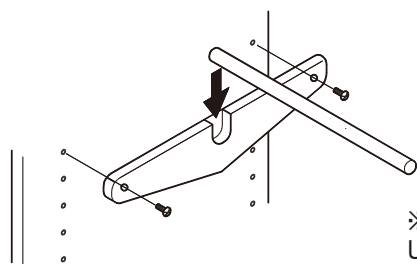
※この製品図は代表的なものです。お客様のご使用になるものとは異なる場合があります。

カスタムパーツの移動と追加

⚠ 注意

■カスタムパーツを取り外す際はパーツの落下等にご注意ください。
■各取付ビスや締付金具は手回しのドライバーで根元までしっかり締め付けてください。締め付けが不十分な場合、収納物の損害や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

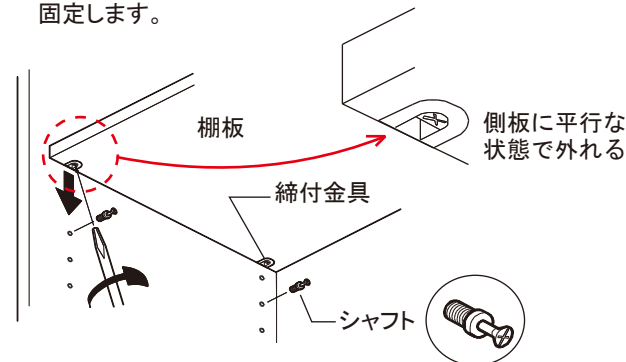
作業にはドライバーが必要です。

【ハンガーパイプ】

①ハンガーパイプの外し方
パイプを両手で持ち、まっすぐ上へ押し上げて外します。
パイプ受け取付ビスを外し、パイプ受けを外します。
※パイプを外す際、固い場合はありますが力を入れて押し上げてください。

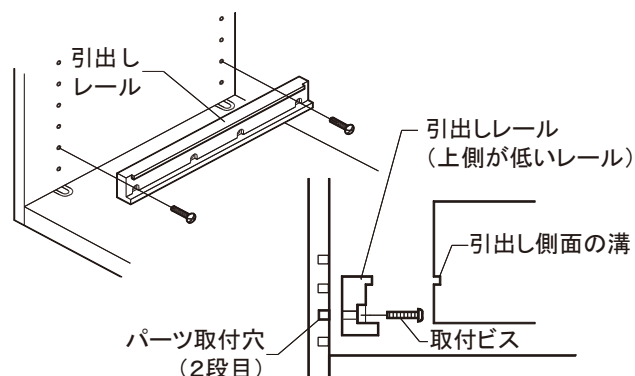
②ハンガーパイプの取り付け方
お好みの高さのパーツ取付穴にパイプ受けを取り付けます。
パイプ受けの上方からパイプを下方向に下ろしながら、溝にパイプをはめ込みます。

※カチッと音がしてしっかりはまったことを確かめてください。

【棚板】

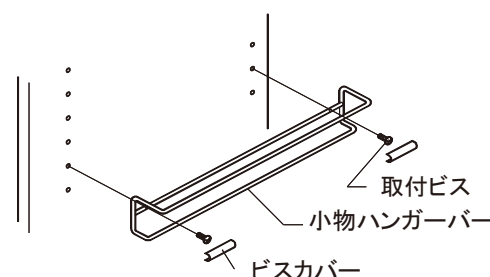
①棚板の外し方
棚板下面の締付金具を左に回してゆるめます。
上方向にまっすぐ棚板を押し上げて棚板を外します。
シャフトをドライバーでゆるめて外します。

②棚板の取り付け方
お好みの高さのパーツ取付穴にシャフトをドライバーで締め付けます。
シャフトの上方から棚板を差し込みまっすぐ下ろします。
棚板裏面の締付金具にシャフトがしっかり差し込まれたことを確認した後、締付金具をドライバーで締め付けて固定します。

【引出し】

①引出しの外し方
引出しを前方に引き抜きます。
引出しレール取付ビスを外し、引出しレールを外します。

②引出しの取り付け方
下から2段目より上のパーツ取付穴に引出しレールを取り付けます。
引出し側面の溝に上側の低いレールがくるようにまっすぐ正面から差し込みます。
2段目以降は2穴飛ばし（150㎜ピッチ）で3穴目にレールを取り付けます。

【小物ハンガーバー】

①小物ハンガーバーの外し方
ビスカバーを外し、取付ビスを外します。

②小物ハンガーバーの取り付け方
お好みの高さのパーツ取付穴に小物ハンガーバーを固定ビスで取り付け、ビスカバーを取り付けます。

3. 商品について

追加カスタムパーツのご注文

■ 追加カスタムパーツのご注文はFAX・インターネット・郵送・お電話で承ります。可動間仕切収納はミリ単位のオーダーメイドです。
追加カスタムパーツをご注文の際は、注文IDまたは邸IDが必要となります。それぞれのIDは①ジャッキアップハンドルのフタの裏、②インフォメーションシート、③追加パーツオーダーフォームに記載されています。
※FAX・郵送でご注文の際は、この取扱説明書に同封されている専用の追加パーツオーダーフォームをご利用ください。

【可動間仕切収納カスタムパーツ・単品・部品一覧】

カスタムパーツ

ハンガーパイプセット ＜セット内容＞ パイプ：1 パイプ受け：2 パイプ受け用ビス：4	棚板セット ＜セット内容＞ 棚板：1 シャフト：4
引出しセット ＜セット内容＞ 引出し：1 引出しレール：2 レール用ビス：4 ※最上段の上には棚板が1段必要となります	小物ハンガーバー ＜セット内容＞ 小物ハンガーバー：1 ビス：2 ビスカバー：2
扉セット ＜セット内容＞ 扉、蝶番、蝶番取付ビス、取手 取手取付ビス、戸当たりダンパー ※各数量は本体寸法により異なります 詳細は別途お問合せください	サイドスペーサーセット ＜セット内容＞ サイドスペーサー：2 サイドスペーサー受け：2 サイドスペーサー受け固定ボルト：

単品・部品（注文可能部品の一例です。掲載されていない部品・部材の単品対応可否についてはお問い合わせください）

配置用部品	本体連結金具(8組)	穴隠しキャップ(32個)	サイドスペーサー受け固定ボルト ボルト・ナット ワッシャー
配置用部品	サイドスペーサー（軟質材） L＝2580　1本入 必要な長さに切って使用します	サイドスペーサー受け 1本入 天井高さごとに長さが異なります	
その他の部品	引出しレール(1組) 引出しレール：2 レール用ビス：4	引出しレール用ビス(1本)	棚板用シャフト(1本)
その他の部品	ハンガーパイプ受け(1組) ハンガーパイプ受け：2 パイプ受け用ビス：4	ハンガーパイプ用パイプ 1本入 ユニット幅により長さが異なります	ハンガーパイプ受け用ビス(1本)
その他の部品	小物ハンガーバー用ビス(1本)	小物ハンガーバー用ビスカバー	取手 取手：1 取手用ビス：2
その他の部品	ジャッキアップハンドル	ハンドル収納部フタ	センサー式耐震ロック 本体：1 取付ビス：2
その他の部品	天井スペーサー 1本入（粘着材付） 本体に適した長さで出荷されます	戸当たりダンパー	

ご相談はこちらまで

アクシス株式会社 セフィットお問合せ窓口
0120－348－225

4．収納ユニットの移動方法

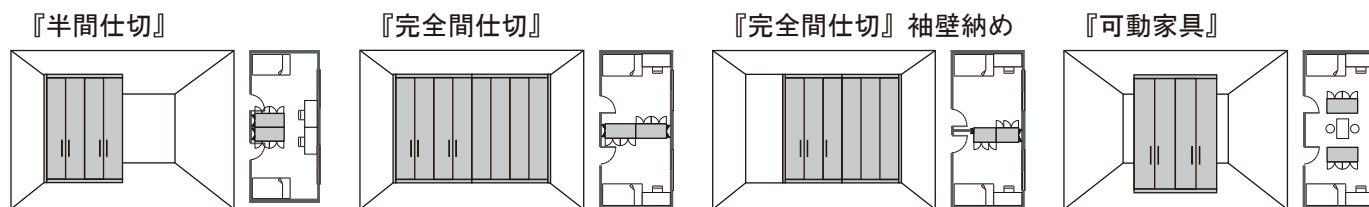
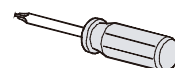
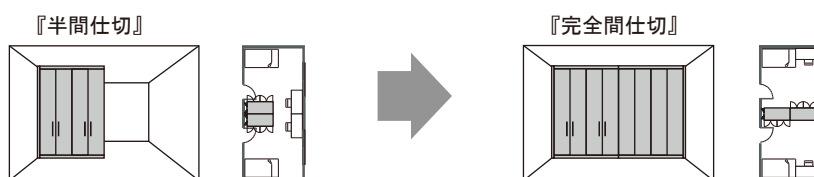
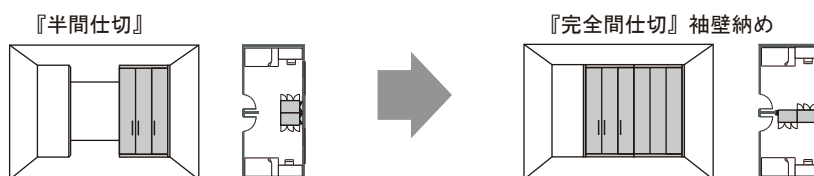
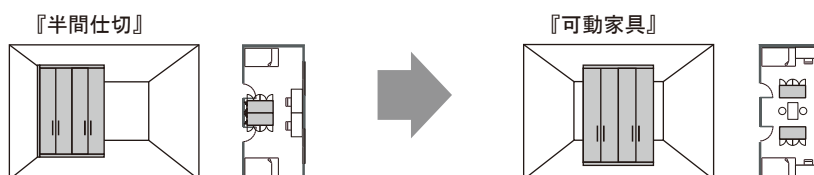
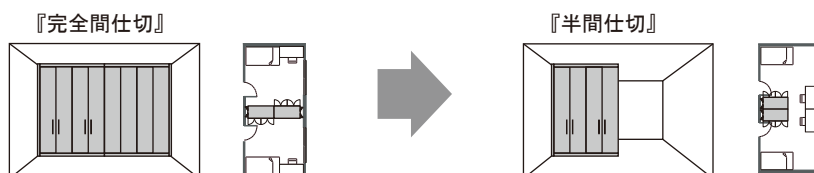
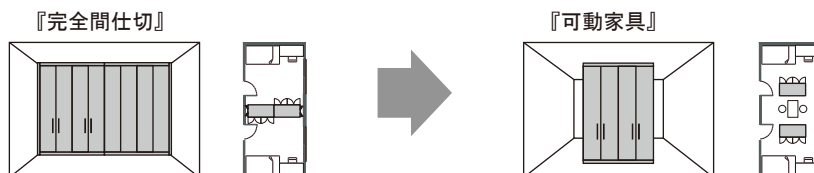
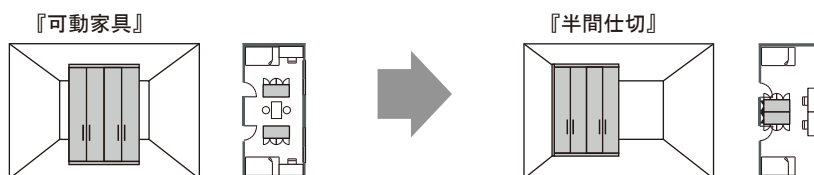
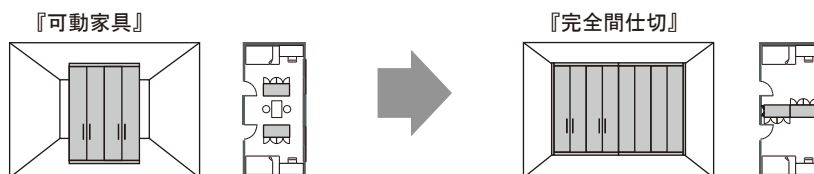
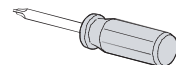
設置方法の種類

作業にはドライバーが必要です。

収納ユニットは、ワンルームを部分的に間仕切る片側オープンの『半間仕切』、完全に間仕切って２つの独立した個室とする『完全間仕切』、壁際ではなく部屋の中央などでパーティションとして使用する『可動家具』と、設置方法により様々なプランでお使いいただけます。

『半間仕切』

『完全間仕切』

『完全間仕切』袖壁納め

『可動家具』

『半間仕切』→『完全間仕切』
『半間仕切』→『完全間仕切』
8～9ページへ

『半間仕切』→『完全間仕切』袖壁納め
『半間仕切』→『完全間仕切』袖壁納め
10～13ページへ

『半間仕切』→『可動家具』
『半間仕切』→『可動家具』
14～15ページへ

『完全間仕切』→『半間仕切』
『完全間仕切』→『半間仕切』
16～17ページへ

『完全間仕切』→『可動家具』
『完全間仕切』→『可動家具』
18～19ページへ

『可動家具』→『半間仕切』
『可動家具』→『半間仕切』
20～21ページへ

『可動家具』→『完全間仕切』
『可動家具』→『完全間仕切』
22～23ページへ

4. 収納ユニットの移動方法

『半間仕切』から『完全間仕切』の移動方法

『半間仕切』

『完全間仕切』

作業にはドライバーが必要です。

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

<配置用部品の納まり>

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。

⇒Ｐ６

収納ユニットの移動

① 収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。（32ヶ所）

※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

手の届かない内側にあるサイドスペーサーは、②でユニットを少し動かして壁から離した状態で取り外します。

② 収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納ユニットの移動（つづき）

③ サイドスペーサー受けの取付位置を変更します

移動先で壁に寄せるほうの側板にサイドスペーサー受けを取り付けます。

④ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36.5mm）

※サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、均等に位置出ししやすくなります

⚠ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるところまでまわしてください。

⚠ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

収納ユニット同士のスキマが気になる場合は本体連結金具を取り付けて2台の収納ユニットを連結します。

収納ユニットと壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。

取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4. 収納ユニットの移動方法

『半間仕切』から『完全間仕切』袖壁納めの移動方法

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

<配置用部品の納まり>

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。⇒Ｐ６

収納ユニットの移動

① 収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。（32ヶ所）

※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

手の届かない内側にあるサイドスペーサーは、②でユニットを少し動かして壁から離した状態で取り外します。

② 収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納ユニットの移動（つづき）

③ サイドスペーサー受けの取付位置を変更します

移動先で袖壁に寄せるほうの側板の本体連結穴に
サイドスペーサー受けを2本重ねて取り付けます。

④ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36.5mm）

※サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、均等に位置出ししやすくなります

⚠ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまでまわしてください。

⚠ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

収納ユニット同士のスキマが気になる場合は本体連結金具を取り付けて２台の収納ユニットを連結します。

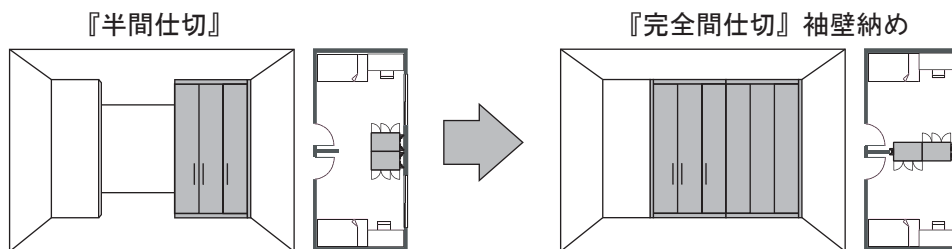
収納ユニットと壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。
取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4．収納ユニットの移動方法

『半間仕切り』から『完全間仕切』袖壁納め(本体連結穴追加)の移動方法

『半間仕切』

作業にはドライバーが必要です。

※ダブルシェルフは側板連結穴の追加ができませんので、袖壁側には設置出来ません

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧下さい

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

<配置用部品の納まり>

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。

⇒Ｐ６

収納ユニットの移動

①　収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。（32ヶ所）

※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

手の届かない内側にあるサイドスペーサーは、②でユニットを少し動かして壁から離した状態で取り外します。

②　収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納ユニットの移動（つづき）

③ サイドスペーサー受けの取付位置を変更します

移動先で袖壁に寄せるほうの側板の本体連結穴に
サイドスペーサー受けを2本重ねて取り付けます。

④ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36.5mm）

※ サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、均等に位置出ししやすくなります

⚠ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるところまでまわしてください。

⚠ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

収納ユニット同士のスキマが気になる場合は本体連結金具を取り付けて２台の収納ユニットを連結します。

収納ユニットと壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。
取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4. 収納ユニットの移動方法

『半間仕切』から『可動家具』の移動方法

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

＜配置用部品の納まり＞

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。⇒Ｐ６

収納ユニットの移動

① 収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。（32ヶ所）

※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

手の届かない内側にあるサイドスペーサーは、②でユニットを少し動かして壁から離した状態で取り外します。

※取り外したサイドスペーサーとサイドスペーサー受け、サイドスペーサー受け固定ボルトは、次に収納を移動するまで大切に保管してください。

② 収納ユニットを動かせる状態にします

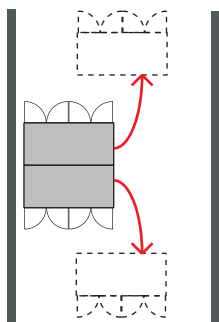
ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納ユニットの移動（つづき）

③ サイドスペーサー受けの取付位置を変更します

収納ユニットを設置場所へ移動します。

⚠注意

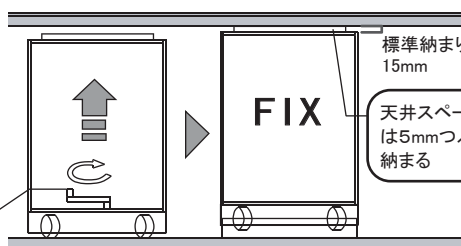
移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまで回してください。

⚠注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

側板の本体連結用孔に、穴隠しキャップを取り付けます。（32ヶ所）

※本体連結用孔に向かって穴隠しキャップを指で押し込んでください

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。
取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4. 収納ユニットの移動方法

『完全間仕切』から『半間仕切』の移動方法

『完全間仕切』

『半間仕切』

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

＜配置用部品の納まり＞

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、
ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。
⇒Ｐ６

本体が連結されている場合、連結金具を外します

収納ユニットの移動の際
かならず本体連結金具を外してください

連結したままジャッキアップハンドルを回してユニットを昇降させると、本体の破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうかかならずご確認ください。
本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。

収納ユニットの移動

①　収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

収納ユニットの移動（つづき）

② 収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマができ、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

③ サイドスペーサー受けの取付位置を変更します

移動先で壁に寄せるほうの側板にサイドスペーサー受けを取り付けます。

④ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動します。

※サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、位置出ししやすくなります

⚠ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまでまわしてください。

⚠ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

収納ユニットと壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

側板の本体連結穴に、穴隠しキャップを取り付けます。
（32ヶ所）

※本体連結穴に向かって穴隠しキャップを指で押し込んでください

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。
取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4. 収納ユニットの移動方法

『完全間仕切』から『可動家具』の移動方法

『完全間仕切』

『可動家具』

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

＜配置用部品の納まり＞

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、
ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。
⇒Ｐ６

本体が連結されている場合、連結金具を外します

収納ユニットの移動の際
かならず本体連結金具を外してください

連結したままジャッキアップハンドルを回してユニットを昇降させると、本体の破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうかかならずご確認ください。
本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。

収納ユニットの移動

①　収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

手の届かない内側にあるサイドスペーサーは、②でユニットを少し動かして壁から離した状態で取り外します。

※取り外したサイドスペーサーとサイドスペーサー受け、サイドスペーサー受け固定ボルトは、次に収納を移動するまで大切に保管してください。

収納ユニットの移動（つづき）

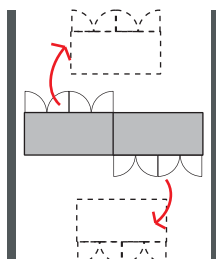
② 収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマができ、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため
作業は2名以上で
行ってください

③ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動します。

注意

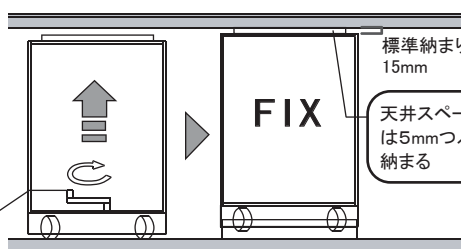
移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるところまでまわしてください。

注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

側板の本体連結用孔に、穴隠しキャップを取り付けます。（64ヶ所）

※本体連結用孔に向かって
穴隠しキャップを指で押し
込んでください

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。
取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4. 収納ユニットの移動方法

『可動家具』から『半間仕切』の移動方法

『可動家具』

『半間仕切』

作業にはドライバーが必要です。

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

<配置用部品の納まり>

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。
⇒Ｐ６

収納ユニットの移動

① 収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。（32ヶ所）

※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

※取り外した穴隠しキャップは、次に収納を移動するまで大切に保管してください。

② 収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納ユニットの移動（つづき）

③ サイドスペーサー受けを取り付けます

移動先で壁に寄せるほうの側板にサイドスペーサー受けを取り付けます。

④ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動します。

※サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、位置出ししやすくなります

⚠注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるところまで回してください。

⚠注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

収納ユニットと壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

側板の本体連結穴に、穴隠しキャップを取り付けます。（32ヶ所）

※本体連結穴に向かって穴隠しキャップを指で押し込んでください

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。

取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

4．収納ユニットの移動方法

『可動家具』から『完全間仕切』の移動方法

『可動家具』

『完全間仕切』

作業にはドライバーが必要です。

※その他の設置方法の場合はＰ７の一覧をご覧ください

移動前の準備

収納物をすべて取り出します

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、かならず空の状態で作業を行ってください。

配置用部品を用意します

<配置用部品の納まり>

紛失等によりお手元に必要な部品がない場合は、ホームページまたはＦＡＸでご注文いただくことができます。⇒Ｐ６

収納ユニットの移動

①　収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。（32ヶ所）

※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

※取り外した穴隠しキャップは、次に収納を移動するまで大切に保管してください。

②　収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

ハンドルを左回りに回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納ユニットの移動（つづき）

③ サイドスペーサー受けを取り付けます

移動先で壁に寄せるほうの側板にサイドスペーサー受けを取り付けます。

④ 収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36.5mm）

※サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、均等に位置出ししやすくなります

注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。

収納ユニットの固定

⑤ 収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるところまで回してください。

注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑥ 配置用部品を取り付けます

収納ユニット同士のスキマが気になる場合は本体連結金具を取り付けて２台の収納ユニットを連結します。

収納ユニットと壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

これで移動は完了です

ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。

取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

5. ユーザーサポート

《商品の保証》

商品は厳密な検査に合格してお届けしております。
施工説明書に従って正しい施工が行われ、取扱説明書、本体注意表示等に従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合は、お引き渡し日より２年間、以下の保証規定により無料で修理を行うことをお約束します。

【無料修理規定】

１．施工説明書、取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は無料で修理いたします。
２．保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
　（１）取扱上の不注意、誤用による故障及び損傷
　（２）移動時の衝撃等による故障及び損傷
　（３）商品を購入された施工店または弊社以外による修理、改造等による故障及び損傷
　（４）商品以外の住宅の構造体、構成部材及び地盤のゆがみ等による故障及び損傷
　（５）火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、治安の混乱等による故障及び損傷
　（６）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
３．消耗品類は本保証規定による保証の対象とはなりません。
４．商品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
５．本規定は、日本国内においてのみ有効です。

《ユーザー登録のお願い》

弊社からお客様へサービスをご提供する際の大切な資料となります。ぜひ、ご登録ください。

※サービス
１．追加カスタムパーツ、消耗品の販売サービスをスムーズに受けることができます。
２．お持ちの商品に関する情報など弊社からお客様へのお知らせをお届けします。
３．新製品のご案内等の最新情報をお届けします。

登録方法

① オンライン登録
インターネットホームページ　セフィット|Ｗｅｂ　Ｓｉｔｅ　からご登録ください。

② ＦＡＸまたは郵送による登録
別添の「インフォメーションシート」登録フォームに必要事項をご記入の上、ＦＡＸまたは郵送してください。

仕様

改正建築基準法（シックハウス対策）への対応に関する表示

住宅部品表示ガイドラインによる表示

F☆☆☆☆

※ お問い合わせ、詳細資料提出等は
下記の窓口で承ります。

＜内装仕上部分＞

ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
ＭＤＦ	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

＜下地部分＞

ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
ＭＤＦ	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
集成材	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

お問い合わせは
こちらまで

0120-348-225
（受付 9:00～18:00 休 土・日・祝）
E-mail：order@ce-fit.com

東日本営業グループ / 青山サイト
東京ショウルーム（完全予約制）
〒107-0062 東京都港区青山2-23-8 外苑ビル3F
TEL 03-3479-5100 FAX 03-3479-6200

西日本営業グループ / 堀江サイト
大阪ショウルーム
〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-26
TEL 06-6536-2030 FAX 06-4391-7102

HP http://www.ce-fit.com セフィット 検索

20140421